

次に私が昨年職員室で回覧した中国中学校卓球選手権大会の参加報告です。

この度は中国大会に参加するに当たって多くのご声援、ご支援を頂きありがとうございました。県大会のご報告から、中国大会6位入賞までの軌跡をファイリングしています。ご一読いただければと思います。また感じたことや今までの工夫などをまとめてみました。運動部顧問の先生のお役に立てれば幸いです。

卓球部顧問

< 中国大会に参加して感じたこと、県大会を突破できた要素 >

- ・ 中国大会上位4校は小学校から卓球競技の経験がある生徒ばかりのチーム。  
勝ち進むには何かが必要。(環境・協力・努力・時間など)
- ・ 厳しい局面で強気で攻めることができないと県上位、中国大会では得点できない。
- ・ 生活面がしっかりしている生徒でないと厳しい局面で勝負できない。
- ・ 技術面で指導ができかねる場合は外部へ連れて行く、コーチを招くなどすると効果的。
- ・ 基本技術は時代が変わっても普遍。
- ・ 礼儀指導、ボランティア活動参加が不可欠・・・人のために動くことができる。  
チームのために働ける。チーム戦は流れや勢いが大切。
- ・ 顧問がビジョンを持つ・・・目標を本気で高く持つ。全国大会を見る。  
高いレベルのプレーを意識する。
- ・ 保護者の協力を得る・・・顧問が指導に集中できるように、保護者が指導以外の面をサポートして下さるように依頼する。同じ方向へ！
- ・ 常に生徒が本気になって取り組める練習方法を考える。
- ・ 本を読む・・・競技の専門書、心理、マネジメント、コーチングなど
- ・ 一番に練習場に行く。
- ・ できるだけリモートコントロールしない・・・いつも側にいる。
- ・ 複数の顧問体制で行う・・・土日の試合や遠征を考えると家庭とのバランスも必要不可欠である。複数の顧問体制で休みを取ることも大切。

まず何のために卓球をしているのかブレない信条が必要だと思っています。反省しながら今も明日の練習を考えています。

全国大会で優勝を目標にしている先生が何人いるでしょうか。中国大会で優勝を目標にしている先生は？県大会は？市大会は？ブロック大会は？・・・。まず先生が高い目標を持つことが生徒に伝わるように思います。今年の目標は県大会優勝でした。中国大会で負けました。新チームは「中国大会で優勝」を目標にしたいと思います。生徒も同じ思いになれるように頑張りたいです。

「努力は才能を超える」・・・全中で見た応援幕の言葉です。